２０２２年度　学校評価

１、本園の教育目標

・神に造られ愛されている事に感謝し、命を大切にし、たくましく生きていく子ども

・人の話を正しく聞いて、自分でよく考え、自分で判断し行動できる主体性のある子ども

・愛を行える子ども

２、本年度､重点的に取り組む目標・計画

・園の建学の精神、教育目標を踏まえ、心の教育を重視し、評価項目に沿って自己点検・自己評価を実施する中で、教師一人ひとりが保育の質の向上に向けて教育内容の充実に取り組んでいくことを目標とする。

・研修の充実。

・コロナ禍において安心安全な保育を行う。

・園内外の安全とセキリュリティー対策の充実。

・特別支援の学びときめ細かな対応。

・延長保育、預かり保育の充実。

３、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取り組み状況
保育内容について	・子ども一人ひとりの育ちを大切に丁寧にかかわり、子どもの発達段階を理解し、それぞれに適したかかわりを行う。 ・年齢やクラス、自然環境、感染症などの流行を考慮して、柔軟に対応できるような保育を行う。 ・学期ごと(年３回)異年齢保育を実施。自主的に自由に好きな遊びを満喫できるよう計画し実施する。
保育の質の向上	・外部講師を招き、園内研修を行う。 ・自己評価を生かし教師のスキルアップに努める。 ・オンライン研修への参加を積極的に行う。 ・会議や研修を通して、保育の質の向上に繋げる。
園の施設整備 安全対策 防犯対策	・随時、施設の安全点検を実施。 ・防犯対策の点検と強化に努める。 ・園外保育等の防犯･事故防止に努める。
預かり保育の充実	・教師の増員。教師間の連携や引継ぎをスムーズに行う。 ・保護者と連携しきめ細かな対応を行い、安心して利用出来るよう努める。

特別支援について	・会議や研修を通して学びを深め、教職員、保護者、専門機関と連携を取りながら、個別の指導計画を作成し、一人ひとりに合った適切な対応に努める。

４、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育活動	・子ども達が自分の力を発揮して、安心して遊びや活動が出来るよう環境を整える。 ・柔軟な感染対策と感染状況に応じた対策の実施。 ・引き続き行事の持ち方を工夫し、安心安全な取り組みを行う。
園内外の安全管理	・園内外の安全、園外保育時の子ども達の安全対策の更なる充実を目指す。 ・避難訓練や防犯訓練の実施の仕方を工夫し、非常時に役立つ訓練を行う。
預かり保育の充実	・預かり保育の質の向上や教師のかかわり等、安心して楽しく過ごせるよう環境を整える。
特別支援教育	・個別の指導計画の立案、保護者へのきめ細かな対応。医療･福祉の関係機関との連携体制に更に力を入れる。 ・保護者の気持ちに寄り添い、きめ細かな対応に努める。
保育の質の向上	・保育内容を精査し、質の高い幼児教育が実施出来るよう努める。 ・保護者アンケートの結果を踏まえ、更なる保育の充実やきめ細かな対応に力を入れる。

５、学校関係者評価　　２０２３年３月実施(予定)

→　コロナ禍において感染防止対策の為今年度は中止。

６、財務状況　　２０２３年６月９日～１０日実施

→　公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

７、情報の公開

→　園のホームページにて公開。